

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

受講者アンケート

住木センターでは、セミナー実施の際に受講者様へのアンケートを実施して、今後の参考にさせていただいております。8月27日、28日に実施しました、入門 木造の許容応力度セミナーでは、下記の内容となりましたのでご紹介させていただきます。

今回のセミナーについて

非常に良かった 69.4%、良かった 30.6%、あまり良くなかった 0%、良くなかった 0%

○ 非常に良かった、良かったの理由

- ・構造をあまりやってこなかったので、思い出すには良い機会であったため
- ・手計算を含めて、計算の流れが分かったため
- ・実務の際のことを含めた説明だったため、実務でよく解らないことが理解できたため
- ・許容応力度の入門編として、全体の流れがよくわかったため
- ・説明がとてもわかりやすい。質問させてもらえるのがよかったため

セミナー受講後、ご自身に変化された点があればお書きください

- ・構造に積極的に取り組みたくなった
- ・グレー本の理解が深まった。理解できない部分分かるようになった
- ・水平構面の許容応力度計算が理解できた
- ・もう一度復習し、実務に反映させていきたいと思った
- ・計算の理屈が解かると、仕事のレスポンスが上がると思った
- ・許容応力度計算を実務に取り入れていきたいと思った
- ・なんとなく理解しているつもりでいたが、さらに理解できた
- ・構造計算の勉強不足を感じた。苦手な構造を勉強しようと思った
- ・今まで行ってきた作業の意味が解かった。
- ・結果だけでなく、なぜそのような結果になるのかという過程を知りたいと思うようになった
- ・お客様に対して、自分で構造についての説明がしたい

受講者様の担当業務等

- ① 所属先 行政・評価機関 18.4%、設計事務所 36.8%、ハウスメーカー・工務店 34.3%
ゼネコン・その他 10.5%
- ② 担当業務 構造 29.7%、意匠 56.8%、その他 13.5%
- ③ 経験年数 5年以下 30.5%、6～10年 19.4%、11～20年 38.9%、21年以上 11.2%

以上です。